

令和4年度志布志市経営発達支援事業評価報告書

1 認定された経営発達事業の取り組み状況

I. 地域の経済動向調査に関すること 【指針③】

県連合会を通して行っている中小企業景況調査を年4回実施し、調査結果を対象事業者へフィードバックし、自身の事業計画に活用されている。

II. 経営状況の分析に関すること 【指針①】

小規模事業者経営改善資金の推薦、決算指導等の機会において、ヒアリングを中心に事業者の現況等の定性分析や、財務諸表を基にした定量分析を行い、経営の見直しに繋がっている。

III. 事業計画策定支援に関すること 【指針②】

持続化補助金・ものづくり補助金・事業再構築補助金・その他市独自の創業補助金等の活用を機会に、前述した経営状況分析を踏まえ、新型コロナや物価・エネルギー高騰等による影響を大きく受けた事業者を中心に計画策定支援を行った。

IV. 事業計画策定支援後の実施支援に関すること 【指針②】

事業計画を策定された事業者のフォローアップを重点的に行った。策定目標を達成するために進捗状況の確認やその後の結果について分析等を行い、事業者との意思共有を図ることで伴走支援に繋がっている。

V. 需要動向調査に関すること 【指針③】

物産展・商談会に来場された方より商品等のアンケート収集を行い、結果を出展事業所へフィードバックし、既存商品のブラッシュアップや新商品開発の足掛かりとして活用。

VI. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること 【指針④】

商工会こだわりの逸品フェア1回(BtoC)、志布志フェア1回(BtoC)、フードスタイル九州1回(BtoB)、への出展参加支援及び開催を行い、販路開拓機会への創出に繋がっている。

VII. 地域経済の活性化に資する取組

コロナ禍の中ではあったが、規模縮小などでの開催や運営協力等を行い、地域の賑わい創出、商業振興や消費拡大を促し地域活性化を図った。

VIII. 経営発達支援計画の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

県商工会連合会の研修会や推薦団体連絡協議会、単独での職員研修セミナー、中小企業大学校等への積極的な研修参加、専門家指導への同行を通じて支援スキル向上の為のノウハウの習得に努めている。

2 認定された目標数値（年度目標数値）

| 項目 | 定量内容 | R4 年度目標 | R4 年度実績 | 達成率 |
|------------------|-----------------------------------|----------------|---------------|------|
| 経済動向調査 | 経済動向の調査・分析 | 1 回 | 4 回 | 400% |
| | 商工会 HP への経済動向情報アップ | 1 回 | 1 回 | 100% |
| | 業況調査回数 | 4 回 | 4 回 | 100% |
| 経営状況分析 | 経営分析件数 | 88 件 | 87 件 | 98% |
| | セミナー・個別相談回数 (参加社数) | 6 回 (60) | 3 回 (12) | 50% |
| | 事業承継に対する調査回数 | 1 回 | 5 回 | 500% |
| 事業計画策定 支援 | セミナー・個別相談回数 (参加者数) | 6 回 (60) | 3 回 (12) | 50% |
| | 事業計画策定件数 | 30 件 | 44 件 | 146% |
| | 事業承継計画策定支援件数 | 3 件 | 1 件 | 33% |
| | 創業支援者数 | 10 件 | 13 件 | 130% |
| | 経営革新支援者数 | 2 件 | 0 件 | 0% |
| | 6 次産業化支援者数 | 2 件 | 0 件 | 0% |
| 事業計画策定 後の実施支援 | 事後指導、フォローアップ事業者数 | 33 件 | 71 件 | 215% |
| | 事後指導、フォローアップ巡回指導件数 | 132 件 | 83 件 | 62% |
| | 売上増加事業者数 | 12 件 | 21 件 | 175% |
| | 利益率 5%以上増加の事業者数 | 12 件 | 2 件 | 16% |
| 需要動向調査 | 需要動向調査件数 | 14 件 | 26 件 | 185% |
| | かご市需要動向調査件数 | 3 件 | 0 件 | 0% |
| 需要開拓 | こだわりの逸品フェア支援事業者数 (売上額/一社当たり) | 5 件 (5 万円) | 2 件 (5 万円) | 40% |
| | かごしま特産品市場支援事業者数 (売上額/一社当たり) | 16 件 (5 万円) | 0 件 (4 万円) | 0% |
| | 志布志フェア支援事業者数 (売上額/一社当たり) | 3 件 (50 万円) | 2 件 (4 万円) | 66% |
| | 全国ご当地どんぶり選手権支援事業者数 (売上額/一社当たり) | 1 件 (50 万円) | 0 件 | 0% |
| | 各種媒体での広報支援件数 | 25 件 | 0 件 | 0% |
| | グルメマップの企画作成 (参加数) | 1 件 (27) | 0 件 | 0% |
| | ふるさと納税特産品新規登録件数 | 9 件 | 1 件 | 11% |
| | セミナー開催回数 (参加数) | 1 件 (28) | 0 回 | 0% |
| | 商品改善提案件数 | 5 件 | 2 件 | 40% |
| 地域経済活性化 | 志布志市活性化推進協議会の開催 | 1 回 | 0 回 | 0% |
| | グルメイベントの実施・協力 | 1 回 | 0 回 | 0% |
| | 商品券事業の実施 | 1 回 | 1 回 | 100% |
| | 地域振興イベントの実施・協力 | 4 回 | 3 回 | 75% |

3 自己評価及び委員会評価

| 項 目 | 商工会 評価 | コ メ ン ト |
|-------------------------------|-----------|--|
| 地域の経済動向調査に関する こと | A | 計 15 社の中小期景況調査や交流人口調査について 十分な実績となった。適時、HP 等のへの公表をして いくことで、情報の共有に繋がっている。 |
| 経営状況の分析に関する こと | B | 巡回指導も多数行っており、鹿児島事業承継センタ ーと連携した経営状況分析に繋がっており、目標に は届いていないが、十分な評価に値する。 |
| 事業計画策定支援に関する こと | C | 事業計画策定セミナーの開催や創業支援件数、事業 計画策定件数も目標以上の実績となった。小規模事 業者持続化補助金や事業再構築補助金などで有効活 用している。 |
| 事業計画策定後の実施支援に 関すること | B | フォローアップを目的とした純化指導も十分に行わ れており、経営安定特別相談制度やエキスパート派 遣による課題解決も行われており支援体制が確立さ れている。 |
| 需要動向調査に関する こと | C | アンケート調査数に不足はあるが、個別企業へのフ ィードバック等も実施されている。 |
| 新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと | D | 逸品フェアや各種即売会、商談会への出展支援を行 っているが、広報周知において課題を残す。また、 既存イベントへの依存が高いため、今後は効果的な 新規事業企画の立案の必要性を感じている、 |
| 地域経済活性化に資する取組 | C | コロナ禍ではあったが、規模縮小での開催を行うな ど、新たな開催方法におけるノウハウを習得する機 会には繋がったが、未開催のものもあったので改善 余地は残されている。 |
| 事業の円滑な実施に向けた支 援力向上のための取組 | A | 職員会議や共有サーバーを活用しての情報共有も行 われており、十分な支援体制が構築されている。 また、各種研修にも参加しており支援力向上に向け た取組も行っている。 |
| 全体報告（総合評価） | C | 経営状況分析や事業計画策定については補助事業を 上手利用し、補助金申請の実績も多く、成果を出し ていると言える。その一方で需要開拓については既 存事業が主となっているため、大きな成果が見られ ない。展示会などの新規事業に積極的な取り組みを 図ることで、成果を求めていきたい。 |

※評価の目安 A：目標を達成することができた。(100%)

B：目標を概ね達成することができた。(80%~99%)

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。(30%~79%)

D：目標をほとんど達成することができなかった。(30%未満)